

15回表、最後の打者を三振に仕留めガッソーポーズする早稲田実の斎藤投手=細川卓撮影
試合終了後、笑顔を見せる駒大苦小牧の田中投手=林敏行撮影、20日、いずれも阪神甲子園球場で



駒大苦小牧

決勝再試合

15回、エース譲らず

5万人の観客が、まだ日差しの強いスタンドを埋めつくしたままだった。延長15回2死、駒大苦小牧の遊撃手、三木が、早稲田実の後藤が打ち抜けた飛球をつかんだ。37年ぶりの決勝引き分け再試合が決まった。ねぎらうと驚嘆多くの観客が思わず席から立ち上がった。耳をふさぐ拍手が絶止する選手を包んだ。3回途中から救援した駒大苦小牧の田中は「雑にならないよう抱き投げました」と淡々と話す。一人で投げ抜いた早稲田実の斎藤も「球を低めに集めることが出来た」と穏やかな表情で頷みだ。と投げ合いになつた。8回、駒大苦小牧が三木の本塁打で均衡を取り戻して迎えた駒大苦小牧。
太苦小牧が三木の本塁打で均衡を取り戻して迎えた駒大苦小牧。
太苦小牧が三木の本塁打で均衡を取り戻して迎えた駒大苦小牧。

新聞社、日本高校野球連盟主催 第15回、兵庫県西宮市の阪神甲子園球場は20日、延長15回を終えて、15回、エース譲らず

15回、エース譲らず

15回、エース譲らず